

山行報告書 京都田辺山友会 報告者 平松 昇

山名	13仏岩戸山から太郎坊山・太郎坊宮	行事名	例会
ル一ト	①船岡山 ②岩戸山十三佛 ③お脇山城跡 ④箕作山 ⑤瓦屋寺分岐 ⑥太郎坊山分岐 ⑦太郎坊山 ⑧太郎坊宮		
山行期間	日帰り	天気	晴
参加者	CL: 平松 昇 SL: 平松多		
男性: 9名	嘉手苺 石橋 上田昌 守口 山口 宮野 中嶋 西川陽		
女性: 10名	姫島 徳田 江平 染矢 長野 深見(OG) (初参加)北川美 宮浦 鈴木		
合計: 19名			

<p>ルート概略図</p>	<p style="text-align: center;">コースタイム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">地名 特定地</th> <th>時:分</th> <th colspan="2">地名 特定地</th> <th>時:分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新田辺</td> <td>集</td> <td>7:45</td> <td rowspan="2">⑥ 小脇山城跡</td> <td>着</td> <td>12:00</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>7:55</td> <td>発</td> <td>12:00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">① 近江鉄道・市辺駅</td> <td>着</td> <td>9:23</td> <td rowspan="2">⑦ 箕作山頂上</td> <td>着</td> <td>12:20</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>9:30</td> <td>発</td> <td>12:30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 船岡阿賀神社</td> <td>着</td> <td>9:35</td> <td rowspan="2">⑧ 太郎坊山頂上</td> <td>着</td> <td>13:10</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>9:50</td> <td>発</td> <td>13:20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 十三佛登山口</td> <td>着</td> <td>10:15</td> <td rowspan="2">⑨ 太郎坊宮阿賀神社</td> <td>着</td> <td>13:40</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>10:30</td> <td>発</td> <td>14:20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 展望所</td> <td>着</td> <td>11:00</td> <td rowspan="2">⑩ 太郎坊宮前駅</td> <td>着</td> <td>15:00</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>11:35</td> <td>発</td> <td>15:09</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤ 岩戸山頂上</td> <td>着</td> <td>11:45</td> <td rowspan="2">京田辺</td> <td>着</td> <td>16:30</td> </tr> <tr> <td>発</td> <td>11:50</td> <td>解</td> <td>16:30</td> </tr> </tbody> </table>	地名 特定地		時:分	地名 特定地		時:分	新田辺	集	7:45	⑥ 小脇山城跡	着	12:00	発	7:55	発	12:00	① 近江鉄道・市辺駅	着	9:23	⑦ 箕作山頂上	着	12:20	発	9:30	発	12:30	② 船岡阿賀神社	着	9:35	⑧ 太郎坊山頂上	着	13:10	発	9:50	発	13:20	③ 十三佛登山口	着	10:15	⑨ 太郎坊宮阿賀神社	着	13:40	発	10:30	発	14:20	④ 展望所	着	11:00	⑩ 太郎坊宮前駅	着	15:00	発	11:35	発	15:09	⑤ 岩戸山頂上	着	11:45	京田辺	着	16:30	発	11:50	解	16:30
地名 特定地		時:分	地名 特定地		時:分																																																														
新田辺	集	7:45	⑥ 小脇山城跡	着	12:00																																																														
	発	7:55		発	12:00																																																														
① 近江鉄道・市辺駅	着	9:23	⑦ 箕作山頂上	着	12:20																																																														
	発	9:30		発	12:30																																																														
② 船岡阿賀神社	着	9:35	⑧ 太郎坊山頂上	着	13:10																																																														
	発	9:50		発	13:20																																																														
③ 十三佛登山口	着	10:15	⑨ 太郎坊宮阿賀神社	着	13:40																																																														
	発	10:30		発	14:20																																																														
④ 展望所	着	11:00	⑩ 太郎坊宮前駅	着	15:00																																																														
	発	11:35		発	15:09																																																														
⑤ 岩戸山頂上	着	11:45	京田辺	着	16:30																																																														
	発	11:50		解	16:30																																																														

山行報告 快晴の下、予定通り楽しい山行ができました。当初、5,6人しか申し込みが無いだろうから、場合によっては車山行に切り替えるか？などと考えていたのですが。参加者は16名。私たち夫婦共々と合わせて18名での山行です。俄然女房もやる気満々。少しでも皆さんが安く行けるようにと前日までチケットの購入方法を練っていました。今回は新人さんが3名も来ていただけるとあって、保険の手配も大変です。なにわともあれ快晴の下、出立。近江八幡で、予定外の中嶋・西川さんも合流。私にはメールで連絡していたとのこと。びっくらぼんです。予定の1名欠席で結局19名と1匹の山行となりました。1匹とは愛犬カレンです。市辺駅を西へ踏切を渡って国道を少し行くと船岡山公園。ここでトイレ、準備体操を済ませ比高260mの縦走の始まりです。高々260mとはいえ、十三佛のある岩戸山(326.5m)までは、石仏と階段に次ぐ階段。結構きつかったと思います。岩戸山下の展望所に11時着、少し早いですがここで昼食タイムといたしました。飛鳥時代、聖徳太子が瓦屋寺を建てられた時に金色の光を発する不思議な岩を見つけられた。太子は仏のお導きと思われこの岩まで辿り着き、仏像を彫ろうとされたが道具が無い、そこで自らの爪で十三体の仏を刻まれたと登山口の案内板に書いてありました。私もまだ見たことがありません。お堂で覆われた奥の岩に描かれた磨崖仏なのですが、毎年2月の千日会に御開帳されるそうです。

展望所からは比叡山や歩いて来た船岡山が望まれます。平野とはよく言ったもので本当に平坦なところなのですね。ところどころにぽこっと山があり、私には湖上に浮かぶ島のように見えます。岩戸山は旗振り山です。岩に矢印が鮮明に刻んでありその方向「瓶割山」に向かって旗を振って、コメの相場を伝達していたとのこと、面白いですね。少し山道を行くとほどなく小脇山城跡(373,6m)へ。石垣跡が至るところに有ります。この地は東





山道と伊勢に伸びる八風街道の交点に位置し、経済的にも軍事的にもこの地を支配した佐々木氏が勢力を拡大できたとされています。こういった話になると守口氏の出番。得意のうんちくを楽しんだ。そして今日の最高峰「箕作山(375,3m)」。織山、竹生島、伊吹山が望まれ、彦根城は？と探したが、残念ながら霞んでよく見えません。この山城の良いところはああ、あそこを歩いて来たのだなあ。と今まで歩いて

来た稜線を確認できる場所ですね。最後のピークは太郎坊山（赤神山）です。ここも岩戸山以上の岩塊です。眼下に太郎坊宮、駅が望め。奥の岩場からは通て来た稜線が見渡され皆さんを楽しませます。そして最後は太郎坊宮、鞍馬の天狗は次郎坊で、ここを守護する天狗様は兄貴分の太郎坊とのこと。そして夫婦岩。火成岩が冷める時に裂けたと言う1mほどの間を通過して本殿へ。日本人の自然崇拝・神道の発生をうなづかせる景観です。742段の階段もくぐりは楽なもので、後ろを振り返り振り返り、太郎坊山のピラミダルな岩山を愛でて近江鉄道に乗り込みました。天気に恵まれた、ゆったりとした山行でした。



ヒヤリハット： なし

